

# 日本中世英語英文学会 第39回全国大会

2023年12月2日(土)・12月3日(日)

早稲田大学

早稲田キャンパス

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1丁目6-1 (大会本部: 3号館 6F 606演習室)

開催校連絡先: seiji.shinkawa@waseda.jp

## 第1日 12月2日(土) 13:00~17:20

開会式・総会 (3号館 4F 401教室) 13:00~13:30

会長講演 (3号館 4F 401教室) 13:45~14:45

MV/VM Order in *Beowulf* 再考

—Alliteration, Scope および Extra elements の相互作用

会長 鈴木 敬了 (大東文化大学)

研究発表 I (3号館 4F 401教室) 15:00~17:20

1. Infinitive or *That*-clause? 古英語福音書における統語的選択

小倉美知子 (千葉大学名誉教授)

2. 後期古英語期の聖職者ウルフスタンのリズム: その特徴と通時的変化

小河 舜 (清泉女子大学非常勤講師)

3. J. R. R. トールキンによる古英詩『モールドンの戦い』解釈と

現代英語訳に見られる群像劇的ヒロイズム

伊藤 尽 (信州大学)

研究発表 II (3号館 4F 402教室) 15:00~17:20

4. 中英語聖書におけるラテン語接続法の表出形態について

佐藤 信正 (独立研究者)

5. 『ロバート・オヴ・グロスターの年代記』における俗語典拠の使用

狩野 晃一 (明治大学)

6. 後期中世平信徒の信仰実践における寓意的女子修道院の利用

—Robert Thornton の能動的読書と *Abbey of the Holy Ghost* への註—

杉山 ゆき (ヨーク大学大学院・

明治大学兼任講師)

## 第2日 12月3日(日) 10:00~12:30

研究発表 III (3号館 4F 401教室) 10:00~12:20

7. Knowing Oceans: Tides, Shallows, and Texts

Britton Brooks (九州大学)

8. *Peterborough Chronicle* における視点と焦点の変化: 名前と肩書の

同格表現に付加される地名要素から探る

新川 清治 (早稲田大学)

9. 英語史授業の実際を振り返る—直接・間接の歴史教材の使い方

守屋 靖代 (国際基督教大学)

閉会式 (3号館 4F 401教室) 12:20~12:30

\*受付は12月2日(土) 11:30~16:00、12月3日(日) 9:30~10:50に3号館 4F 401教室前で行われます。

\*一般会員の年会費徴収は行いません。

日本中世英語英文学会 (会長 鈴木敬了)

事務局 〒175-8571 東京都板橋区高島平1丁目9-1

大東文化大学文学部 英米文学科 小池剛史研究室内

連絡先: jsmes.2023.2024@gmail.com

【大会準備委員】

平山直樹 (委員長) 藤井香子 (副委員長)

井口 篤 小笠原清香 岡田 晃 岡崎久美子 渡辺直子